

保護者の方へお願いです！

子どもたちの周りには、たくさんの危険が潜んでいます。「うちの子に限って」という油断は禁物です。

お子さんの安全を守るためには、まず家庭での教育が大切です。

犯罪の被害に遭わないためにはどうすればいいのかをお子さんと話し合い、お子さんの立場になって繰り返し教えましょう。



◆ひとりにしない



お子さんが犯罪被害に遭うケースで多いのは一人での時です。できるだけ一人で行動させないでください。

◆行き先を聞く



必ず「誰と・どこで・何をするか・何時に帰るか」を言うてから出かけさせましょう。お子さんの行動を把握し、遅い時間には外出させないでください。

◆必ず大人に知らせるよう指導する

危険な目にあったら必ず話すように教えましょう。お子さんが何でも話せるよう日頃のコミュニケーションが大切です。



◆助けを呼ぶ練習をする

危険な目にあっても恐怖で声が出せないかもしれません。いざという時大声で助けが呼べるよう練習しましょう。

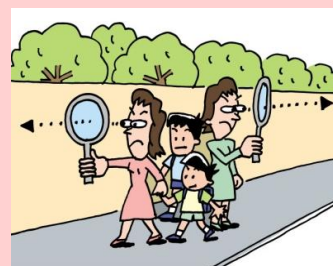


◆逃げ込める場所を確認させる



「子ども 110 番の家」や知り合いの家など、お子さんの行動範囲で逃げ込める場所を一緒に確認しましょう。

◆危険な場所に行かせない



お子さんが一人になりやすい所など危険な場所を一緒に見て歩き、近づかないように指導してください。

Check! 防犯ブザーの確認をしてください。

- お子さんは防犯ブザーの使い方を分かっていますか？
- 防犯ブザーはお子さんがすぐ使える位置にありますか？
- 防犯ブザーの電池が切れていたり、故障したりしていませんか？

